



長門の話題 Topics

第4回食のワークショップ

長門の食材でメニュー開発

長門市の豊かな食資源を活かして、地元住民が地元食材を認識し新たな商品、メニュー開発のきっかけづくりの場にしよと「第4回食のワークショップ」が7月29日(水)、三隅保健センターで開催され、地域で活動している女性グループのメンバーや長門の食材を使った料理に関心の



▲地元食材をふんだんに使った料理を説明する馬場氏(左)

ある市民など約30人が参加しました。

ワークショップでは、料理研究家の馬場香織氏と食環境ジャーナリストの金丸弘美氏を講師に、旬を迎えている仙崎トロアジ(マアジ)やイサキ、ウニ、釜揚げシラス、田屋ナス、トマトに加え、モズク、シラモなど珍しい食材を使って「マアジのカルパッチョ」「イサキの香草焼き」「黒アナゴのなると煮」「塩ウニと焼き田屋なすのムース」など、約40種類の料理を作りました。

試食が始まると、参加者は長門市産の食材を生かし工夫された料理を楽しみました。市では、これまでのワークショップで実践された約140種類のメニューをテキスト化しており、今後仙崎地区に建設予定の直売所・レストランでの提供も視野に取り組んでいきます。

アグリアート・フェスティバル2015

農作業着から農業の振興を

地域の農業振興を目的として今回で3回目となる「アグリアート・フェスティバル2015 和敬清寂」夏は涼しく」が7月26日(日)、ラポールゆやで開催されました。

大西市長、安倍昭恵内閣総理大臣夫人、山口県立大学の水谷由美子国際文化学部長らによる「日本一美しい油谷の



▲大西市長も「モンペッコ」を身につけ登場

棚田創生と若者による農業の未来」と題したトークショーが行われました。

続いて、サプライズゲストの安倍晋三内閣総理大臣が登場すると農ガールコレクションがスタート、「モンペッコ」と呼ばれる農作業着を着たモデルが続々と登場し、会場は大いに盛り上がりました。



▲サプライズゲストとして登場した安倍内閣総理大臣(中央)

「奇跡のリンゴ」の木村秋則氏が講演 自然栽培を實現しよう

ながと成長戦略行動計画の「自然栽培米等の供給基地化」実現のため、自然農法を広く周知しようと、8月1日(土)ラポールゆやで木村秋則氏の講演会が開催され、市民ら約400人が来場しました。木村氏が長年取り組んだ無農薬・無施肥による自然栽培

はマスメディアに取り上げられ、リンゴ農家としての実話が「奇跡のリンゴ」として映画化されています。講演で木村氏は、「生育しやすい環境をつくるだけで、稲は育つ。土、作物、根を生かすことで、自然栽培は可能になる」と話しました。



▲「農業の主役は作物」と話す木村氏

日置農村活性化交流センターが開館20周年 福引きで20年目を祝う

平成7年の開館から20年を迎えた日置農村活性化交流センターが、8月1日(土)、記念の福引抽選会を行いました。10時の開店と同時に多くの入浴客が訪れ、地元産の米やしょうゆ・みそセット、塩などの賞品が当たる記念の福引きを楽しみました。



▲福引きを楽しむ入浴客

第17回みすゞ七夕笹まつり みすゞ通りを笹飾りが彩る

仙崎みすゞ通りが200本を超える笹飾りで彩られる「みすゞ七夕笹まつり」が、8月1日(土)開催され多くの人でにぎわいました。まつりは、仙崎小学校マーチングバンドの演奏で幕を開け、同校児童による詩の朗読と合唱、瀬戸崎組鯨唄、舞妓

さんによる舞踊・仙崎祇園囃子がステージで披露されました。会場となったみすゞ通りには、焼き鳥やかき氷、射的などの店が軒を連ねました。祭りの最後を飾るみすゞ音頭総踊りには15団体約300人が参加し、踊りを披露しながらみすゞ通りを歩きました。



▲金子みすゞ記念館前を総踊りが進む

長門市で4人目の地域おこし協力隊員 向津具地区で地域おこし

長門市では4人目となる地域おこし協力隊員、磯野沙智恵さんに8月5日(水)、委嘱状が交付されました。磯野さんはNPO法人むかつくによる支援を受けながら、向津具地区で高齢者支援や環境整備、交流促進、定住促進などを行います。



▲大西市長に意気込みを語る磯野さん

独身者に出会いの機会を提供

縁結び大使に初の報奨金

昨年7月から始まった、独身者に出会いの機会を提供し結婚を進める「長門市縁結び事業」による、初の婚姻成立報奨金が7月27日(月)、中原将彦さんに贈呈されました。

この報奨金は、引き合わせた男女が結婚し、市内に定住するなどの条件を満たした場合に支給されるもので、縁結び大使である中原さんは、今年2月に自身が経営する串焼き店にて30代の男女を引き合わせ、その2人が5月に結婚しました。

現在縁結び大使は16人で、出会いや結婚の相談、アドバイスなどを行っています。



▲縁結び第一号となった中原さん(左)と大西市長

第61回ながと仙崎花火大会

伝統の花火を楽しむ

仙崎祇園祭開催中に行われる、今年で61回目を迎えた「ながと仙崎花火大会」が7月25日(土)、仙崎湾で行われました。今年花火大会開始前から、やきとりや岩ガキ、N-1グランプリでグランプリを獲得したチームNGTの「長州どりの夏野菜カレー」などがシヨップ青海島前に出店し、よさこいチームによる演舞、アマチュアバンド演奏などが行われるなど、多くの人でにぎわいました。

打ち上げられた花火は約3,000発。好天にも恵まれ、約2万7千人が光の競演を満喫しました。



▲青海島シーサイドスクエアで花火を楽しむ

湯本温泉納涼盆踊り大会

50回目の温泉街での盆踊り

今年で50回目の節目を迎えた湯本温泉納涼盆踊り大会が8月11日(火)、湯本温泉旅館街で開催され、市内各企業・団体から参加した23チーム、総計約650人が揃いの衣装や浴衣、法被などを着て「湯本温泉音頭」「いい湯だな」「WAになっておどろう」を踊りました。

踊りは2部構成で、第1部が終わると音信川で精霊流しや仕掛け花火が行われ、その後、第2部では「恋するフォーチュンクッキー」などを参加者全員で踊りました。

各ポイントに配置された審査員による審査の結果、「とりごえ1区女子会」が盆踊り大会3連覇を果たしました。



▲揃いの衣装を着てチームごとに踊る



▲3年連続で優勝したとりごえ1区女子会

長門のPeople



笑顔で、スキルアップを目指して。

金子千聖さん (西京銀行長門支店 / 深川湯本小河内区)

熱血！新鮮力

※仕事は 預金係として、為替に関する業務を担当しています。期限の見落としや誤りは許されないので、しっかりとした期日管理を心がけています。

※就職のきっかけは 高校の先生と相談する中で、住み慣れた環境を変えたくないという思いもあり、地元での就職を決めました。

※趣味は どちらかと言うとインドア派なので、漫画を読んだり、ア



ニメを鑑賞したり、最近はお

ズルを楽しんでいます。

※長門市の好きな場所は

たくさんの赤い鳥居が並ぶ油

谷の元乃隅稲成神社です。

※今後の目標は

財務や法務関係の資格取得に

向けて勉強を重ね、スキル



汗と砂にまみれ3時間走る

第22回汗汗フェスタ2015 in 千畳敷

アップダウンの激しい1周4.32kmのコースをマウンテンバイクで走る3時間耐久レース「汗汗フェスタ2015 in 千畳敷」が8月9日(日)、日置の千畳敷をスタート・ゴールとして開催されました。

1人で出場するソロの部、2〜4人で構成されるチームの部をあわせて、県内外から624人が参加し、日本海を臨む過酷なコースを汗と砂にまみれながら周回し、競技を楽しみました。

給水ポイントでは、日置パレースポーツ少年団や黄波戸スポーツ少年団の子どもたちが、飲み物やフルーツなどを選手に手渡し、大会の運営を手伝いました。



▲飲み物を選手に渡すスポーツ少年団の子どもたち



▲山道をマウンテンバイクで疾走する